

No.72

津地区の景況調査

平成30年上期実績と平成30年下期見通し
(平成30年7月調査)

津商工会議所中小企業相談所

も く じ

I	調査概要	1
II	調査結果	4
1	現状と今後の見通し	4
2	売上状況と来期の見通し	6
3	利益状況	8
4	販売条件と仕入条件	9
5	設備投資	1 1
6	資金繰りの動向	1 1
7	借入の動向	1 3
8	借入予定と借入希望先	1 3
9	経営上の問題点	1 5
■	景況調査票	1 7

I 調査概要

- 1 調査目的 本調査は、津地区企業の景況を調査し、その動向を分析して地域事業所の経営に役立つ資料を提供することを目的とする。
- 2 調査対象 津商工会議所会員でFAX登録されている2,103企業を対象に実施。
- 3 調査方法 FAX送付によるアンケート方式
- 4 調査期間 平成30年7月1日～同月13日
- 5 調査対象期間 平成30年上期（1～6月）実績と平成30年下期（7～12月）見通し
- 6 回収集計数 回収集計数企業 327（回収集計率 15.4%）
うち小規模企業 187
- 7 調査機関 津商工会議所中小企業相談所

DI - Diffusion. Index (ディフュージョン・インデックスの略)

本文のDIとは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているものでとくに言及のない限り、前期に比べて「増加」「好転」する企業の割合から「減少」「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

B. S. I 値 (ビジネス・サーベイ・インデックス) の見方について

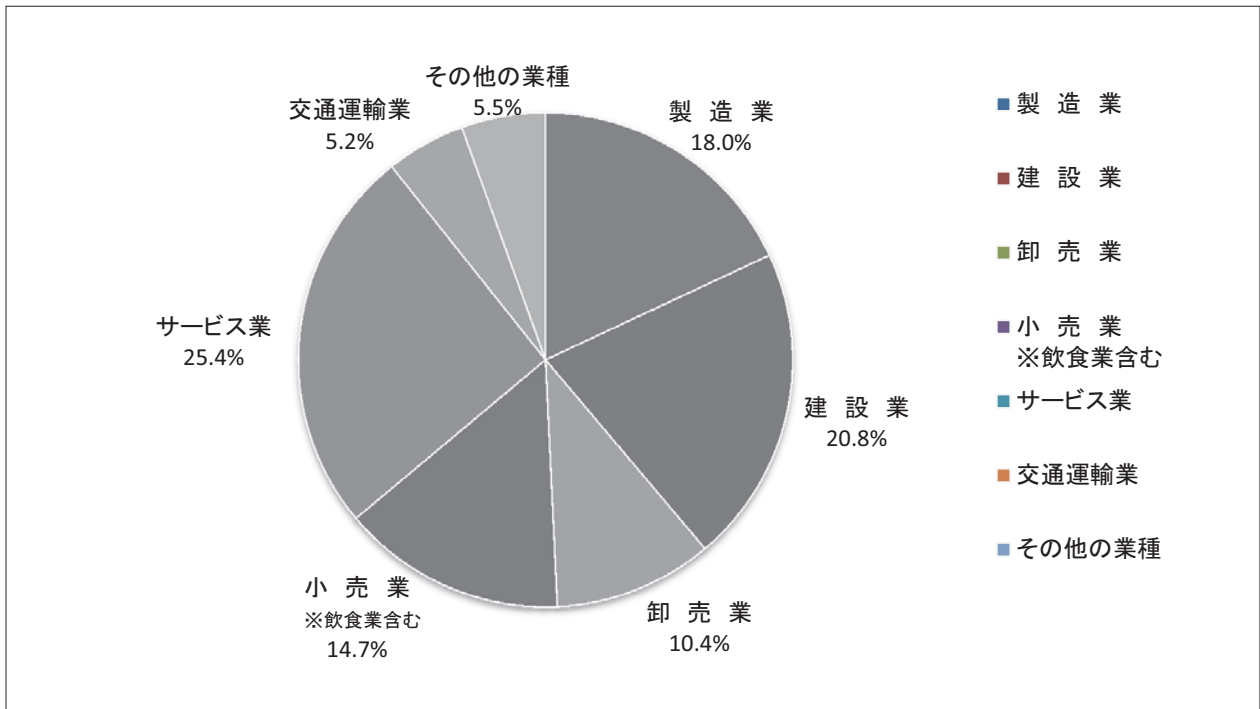
B. S. I. とは、景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、とくに言及のない限り「増加」「好転」したとする企業割合から「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値を2で割った値である。

(注) 図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第2桁で四捨五入をしているため、合計が100.0にならない場合がある。

回答状況

業種別回答比率



業種別従業員規模

(単位：上段－企業数・下段－%)

	0～5人	6～20人	21～50人	51～100人	101人以上	無記入	計
全産業	136	102	43	18	27	1	327
	41.6	31.2	13.1	5.5	8.3	0.3	
製造業	17	20	8	7	7	0	59
	28.8	33.9	13.6	11.9	11.9	0.0	
建設業	37	22	8	0	1	0	68
	54.4	32.4	11.8	0.0	1.5	0.0	
卸売業	12	11	9	2	0	0	34
	35.3	32.4	26.5	5.9	0.0	0.0	
小売業 ※飲食業含む	26	10	2	4	6	0	48
	54.2	20.8	4.2	8.3	12.5	0.0	
サービス業	35	30	7	3	7	1	83
	42.2	36.1	8.4	3.6	8.4	1.2	
交通運輸業	3	3	7	2	2	0	17
	17.6	17.6	41.2	11.8	11.8	0.0	
その他の業種	6	6	2	0	4	0	18
	33.3	33.3	11.1	0.0	22.2	0.0	

全 産 業 D I

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
29年1月～6月 実績	▲12.8	▲11.0	▲17.1	▲10.6	▲18.8	▲7.2
29年7月～12月 実績	6.8	6.4	▲2.1	▲4.7	▲15.0	▲3.4
30年1月～6月 実績	▲19.9	▲18.0	▲23.9	▲14.7	▲21.8	▲14.1
30年7月～12月 見通し	▲16.0	▲16.8				▲13.4

産 業 別 D I (30年1～6月期)

	業況判断	売 上	利益状況	販売条件	仕入条件	資金繰り
製 造 業	▲20.3	▲23.8	▲30.5	▲11.8	▲32.2	▲15.3
建 設 業	▲19.1	▲16.1	▲26.5	▲16.2	▲23.5	▲7.3
卸 売 業	11.7	14.8	5.9	▲8.8	▲17.6	▲8.8
小 売 業 ※飲食業含む	▲39.6	▲33.3	▲37.5	▲27.1	▲25.0	▲24.9
サービス業	▲18.1	▲15.6	▲14.4	▲10.9	▲12.0	▲13.3

Ⅱ 調査結果

1 現状と今後の見通し（表－1、図－1・2参照）

(1) 現状

全産業の今期業況判断DIは、▲19.9となり前期6.8と比べ、26.7ポイント悪化となった。前回調査時で19.6ポイントの改善であったが、今回調査では、大きく悪化に転じる結果となった。また、小規模企業は▲20.8となっており、前期3.2と比べ24.0ポイントの悪化となった。すべての業種、規模で悪化となっており、製造業（▲25.1）、建設業（▲31.3）、小売業（▲37.8）においては25.0ポイント以上のマイナスに転じた。

(2) 今後の見通し

全産業の見通し判断DIは▲16.0と、今期の現状実績値▲19.9より3.9ポイント改善する見通しを示している。また、小規模企業においても▲11.7の見通しで、今期の現状実績値▲20.8より9.1ポイント改善の見通しを示している。業種別では、卸売業を除き改善、小規模企業も卸売業を除き改善の見通しとなっている。

表－1 経営の現状と今後の見通し

	実 績			現状と前期 との比較 (③－②)	来期の見通し	現状と見通し との比較 (④－③)
	①29年 1月～6月	②29年 7月～12月	③30年 1月～6月		④30年 7月～12月	
全 産 業	▲12.8	6.8	▲19.9	▲26.7	▲16.0	3.9
	▲17.8	3.2	▲20.8	▲24.0	▲11.7	9.1
製 造 業	▲9.8	4.8	▲20.3	▲25.1	▲10.2	10.1
	▲25.9	▲9.7	▲24.3	▲14.6	▲16.2	8.1
建 設 業	▲16.2	12.2	▲19.1	▲31.3	▲13.2	5.9
	▲17.8	8.6	▲20.3	▲28.9	▲15.2	5.1
卸 売 業	▲10.0	17.2	11.7	▲5.5	▲20.5	▲32.2
	▲25.0	15.4	▲16.8	▲32.2	▲25.0	▲8.2
小 売 業 ※飲食業含む	▲19.2	▲1.8	▲39.6	▲37.8	▲33.4	6.2
	▲30.0	▲3.0	▲42.3	▲39.3	▲11.6	30.7
サービ業	▲15.8	2.7	▲18.1	▲20.8	▲9.7	8.4
	▲7.4	9.1	0.0	▲9.1	5.7	5.7

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

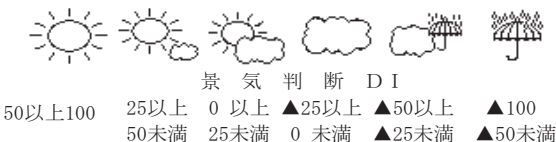
▲はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

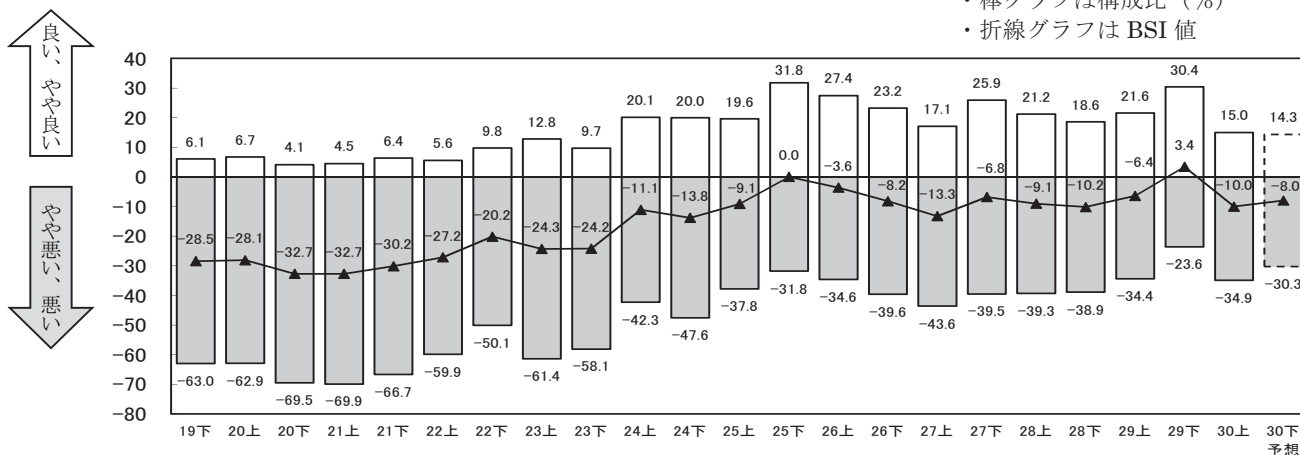
	実 績			来期の見通し
	29年1月～6月	29年7月～12月	30年1月～6月	30年7月～12月
全 産 業				
製 造 業				
建 設 業				
卸 売 業				
小 売 業 ※飲食業含む				
サービ業				

D I = 好転（良い、やや良い）の割合 - 悪化（やや悪い、悪い）の割合 ▲はマイナス表示

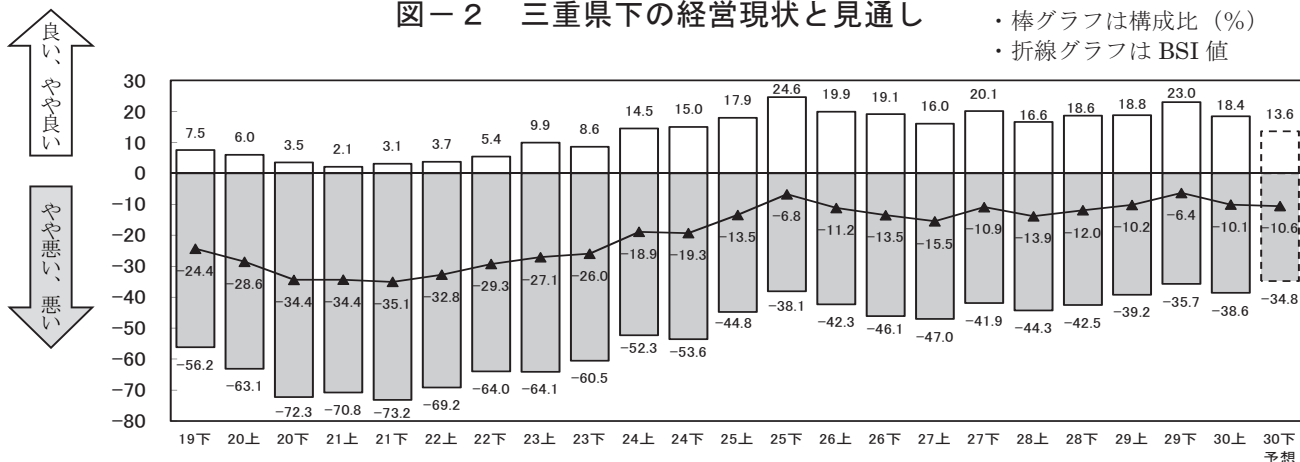
※表内の景気天気図は各期ごとのD I値により表示
快 晴 晴 曇り時々晴 曇り 曇り時々雨 雨



図－1 津地区の経営の現状と見通し



図－2 三重県下の経営現状と見通し



2 売上状況と来期の見通し（表－2 参照）

(1) 今期の動向

全産業の売上D Iは今期▲18.0 となり前期 6.4 と比べ 24.4 ポイントの悪化となり、マイナスに転じた。同じく小規模企業の全産業の売上D Iは今期▲23.5、前期▲6.5 と比べ 17.0 ポイントの悪化となった。業種別ではすべての業種で悪化、小規模企業では、サービス業を除き悪化となっている。

(2) 今後の見通し

全産業の売上見通し判断D Iは▲16.8、今期の現状実績値▲18.0と比較し1.2ポイントの改善の見通しとなっている。業種別では、製造業とサービス業で改善、小規模企業では、建設業を除き改善の見通しを示している。

表－2 最近の売上と今後の見通し

	実 績			現状と前期 との比較 (③－②)	来期の見通し	現状と見通し との比較 (④－③)
	①29年 1月～6月	②29年 7月～12月	③30年 1月～6月		④30年 7月～12月	
全 産 業	▲11.0	6.4	▲18.0	▲24.4	▲16.8	1.2
	▲20.2	▲6.5	▲23.5	▲17.0	▲16.5	7.0
製 造 業	▲3.9	6.5	▲23.8	▲30.3	▲15.2	8.6
	▲18.5	▲29.1	▲35.1	▲6.0	▲24.3	10.8
建 設 業	▲23.6	9.4	▲16.1	▲25.5	▲25.1	▲9.0
	▲21.4	3.5	▲15.3	▲18.8	▲27.1	▲11.8
卸 売 業	0.0	22.8	14.8	▲8.0	▲20.6	▲35.4
	▲25.0	7.7	▲25.0	▲32.7	▲16.7	8.3
小 売 業 ※飲食業含む	▲10.5	1.8	▲33.3	▲35.1	▲41.6	▲8.3
	▲30.0	▲5.9	▲42.3	▲36.4	▲26.9	15.4
サービス業	▲11.1	▲6.9	▲15.6	▲8.7	0.0	15.6
	▲14.8	▲21.2	▲11.5	9.7	11.5	23.0

DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段D I 値は小規模企業

	実 績			来期の見通し
	29年1月～6月	29年7月～12月	30年1月～6月	30年7月～12月
全 産 業				
製 造 業				
建 設 業				
卸 売 業				
小 売 業 ※飲食業含む				
サービス業				

DI = 好転（良い、やや良い）の割合 - 悪化（やや悪い、悪い）の割合 ▲はマイナス表示

※表内の景気天気図は各期ごとのDI値により表示
快晴 晴 曇り時々晴 曇り 曇り時々雨 雨

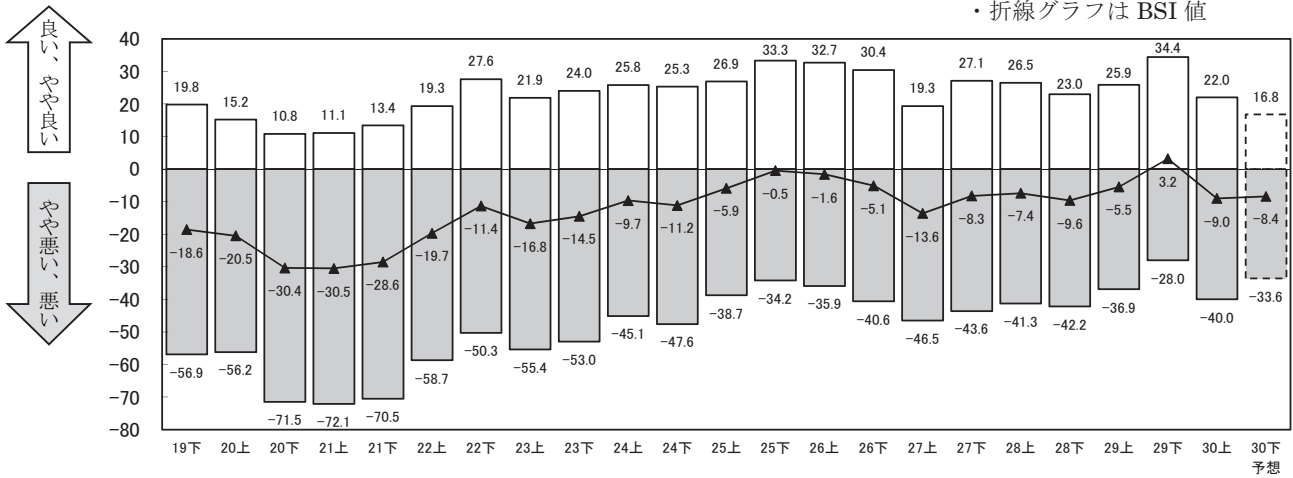


景 気 判 断 DI

50以上100 25以上 0 以上 ▲25以上 ▲50以上 ▲100
50未満 25未満 0 未満 ▲25未満 ▲50未満

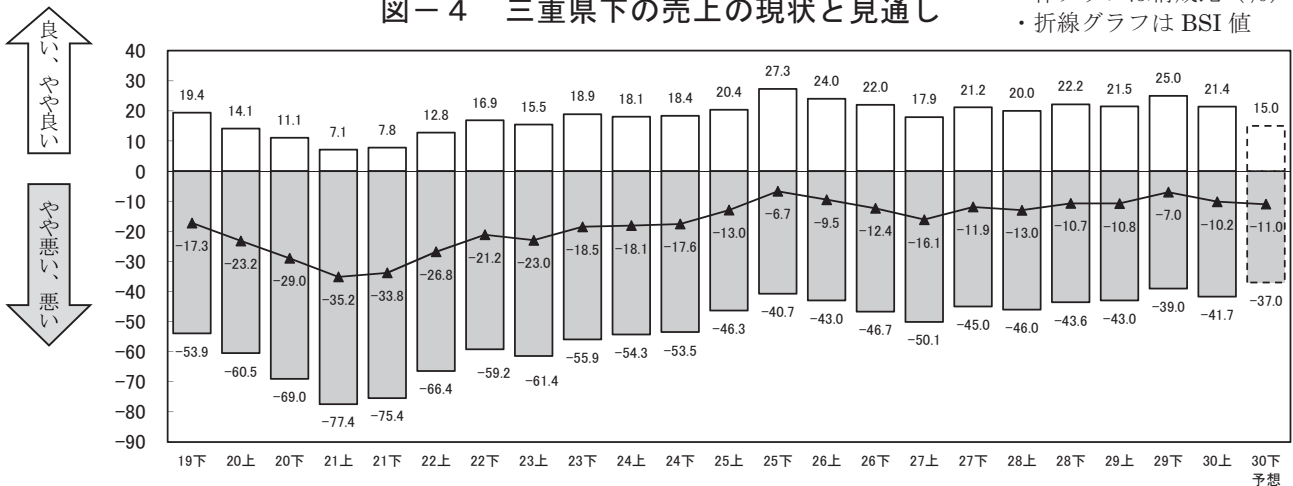
図－3 津地区の売上の現状と見通し

・棒グラフは構成比 (%)
・折線グラフは BSI 値



図－4 三重県下の売上の現状と見通し

・棒グラフは構成比 (%)
・折線グラフは BSI 値



3 利益状況（表－3、図－5参照）

全産業の利益判断D Iは▲23.9と前期▲2.1に比べ21.8ポイント悪化した。業種別で見るとすべての業種で悪化となっており、製造業（▲32.1）、小売業（▲30.1）においては、30.0ポイント以上のマイナスに転じた。小規模企業でも、すべての業種で悪化となっており、卸売業（▲32.8）、小売業（▲30.6）が30.0ポイント以上の大幅なマイナスに転じた。

表－3 利益状況

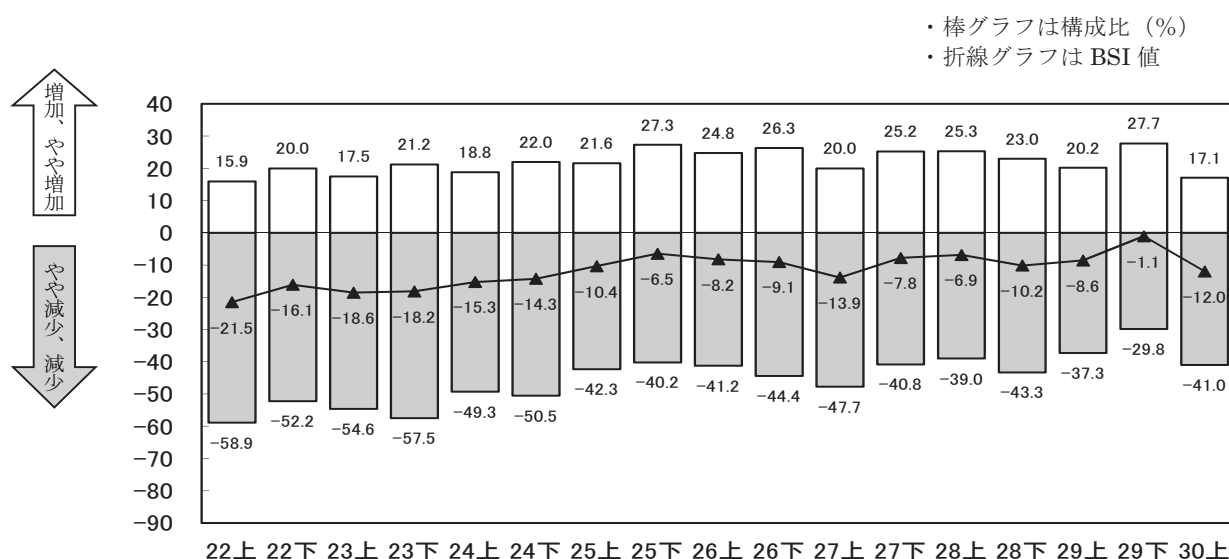
	実 績			現状と前期との比較 (③－②)
	①29年 1月～6月期	②29年 7月～12月期	③30年 1月～6月期	
全 産 業	▲17.1	▲2.1	▲23.9	▲21.8
	▲27.6	▲14.2	▲30.5	▲16.3
製 造 業	▲13.7	1.6	▲30.5	▲32.1
	▲29.6	▲29.0	▲40.5	▲11.5
建 設 業	▲25.0	▲8.1	▲26.5	▲18.4
	▲30.4	▲17.2	▲27.1	▲9.9
卸 売 業	▲10.1	17.1	5.9	▲11.2
	▲25.0	7.7	▲25.1	▲32.8
小 売 業 ※飲食業含む	▲27.6	▲7.4	▲37.5	▲30.1
	▲50.1	▲11.8	▲42.4	▲30.6
サービ業	▲14.3	▲5.6	▲14.4	▲8.8
	▲7.4	▲9.1	▲14.3	▲5.2

DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段D I値は小規模企業

図－5 利益状況



4 販売条件と仕入条件

(1) 販売条件（表－４、図－６参照）

全産業の販売条件判断DIは▲14.7と前期▲4.7に比べ、10.0ポイントの悪化となった。業種別で見ると、製造業を除き悪化、小規模企業は、サービス業が横ばいで、その他は悪化となり、卸売業（▲40.4）が40.0ポイント以上の大幅なマイナスに転じた。

表－４ 販売条件

	実 績			現状と前期との比較 (③－②)
	①29年 1月～6月期	②29年 7月～12月期	③30年 1月～6月期	
全 産 業	▲10.6 ▲11.6	▲4.7 ▲8.6	▲14.7 ▲18.1	▲10.0 ▲9.5
製 造 業	▲13.7 ▲22.2	▲14.6 ▲19.4	▲11.8 ▲21.6	2.8 ▲2.2
建 設 業	▲8.8 ▲9.0	▲8.1 ▲13.8	▲16.2 ▲18.7	▲8.1 ▲4.9
卸 売 業	▲3.3 8.4	8.6 15.4	▲8.8 ▲25.0	▲17.4 ▲40.4
小 売 業 ※飲食業含む	▲19.1 ▲26.7	▲5.5 ▲3.0	▲27.1 ▲26.9	▲21.6 ▲23.9
サービス業	▲14.4 ▲7.4	▲0.1 ▲3.0	▲10.9 ▲2.8	▲10.8 0.2

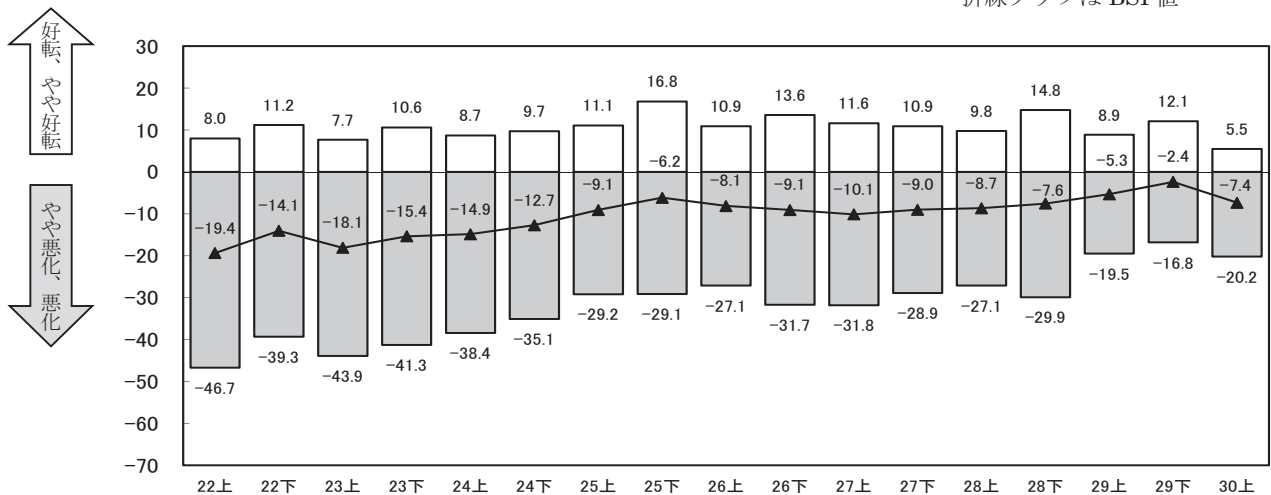
DI=好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段()内DI値は小規模企業

図－６ 販売条件

・棒グラフは構成比（％）
・折線グラフはBSI値



(2) 仕入条件 (表-5、図-7 参照)

全産業の仕入条件判断DIは▲21.8と前期▲15.0に比べ、6.8ポイントの悪化となった。業種別で見ると小売業を除き悪化、小規模企業は、サービス業が横ばいで、その他は悪化となり、卸売業 (▲41.0) が40.0ポイント以上の大幅なマイナスに転じた。

表-5 仕入条件

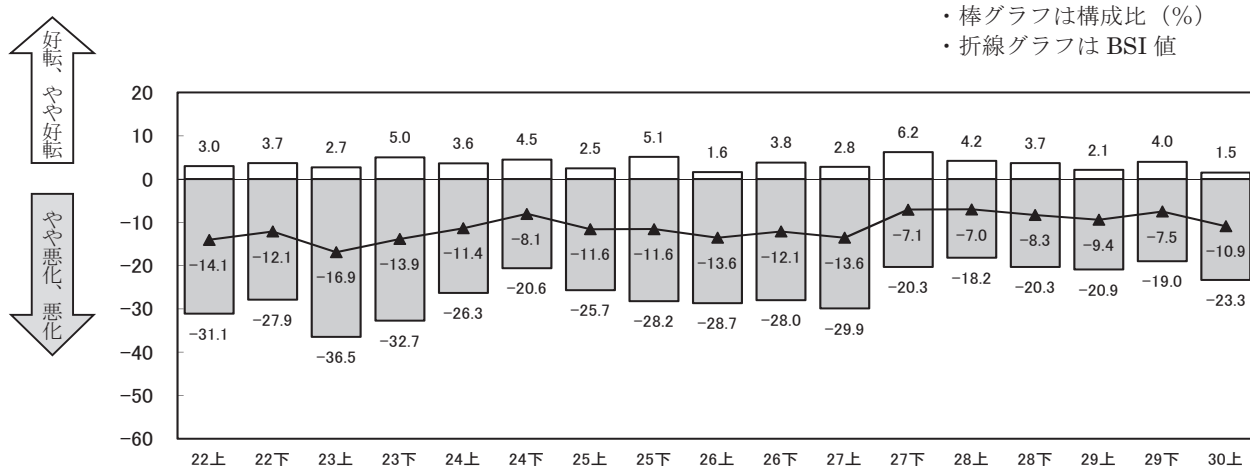
	実 績			現状と前期との比較 (③-②)
	①29年 1月~6月期	②29年 7月~12月期	③30年 1月~6月期	
全 産 業	▲18.8 ▲22.1	▲15.0 ▲17.9	▲21.8 ▲23.0	▲6.8 ▲5.1
製 造 業	▲19.5 ▲29.6	▲20.9 ▲29.1	▲32.2 ▲35.1	▲11.3 ▲6.0
建 設 業	▲20.6 ▲23.1	▲13.5 ▲17.3	▲23.5 ▲23.7	▲10.0 ▲6.4
卸 売 業	▲13.3 ▲8.3	0.0 7.7	▲17.6 ▲33.3	▲17.6 ▲41.0
小 売 業	▲23.4 ▲26.7	▲26.0 ▲29.4	▲25.0 ▲30.8	1.0 ▲1.4
サービス業	▲19.0 ▲22.2	▲9.6 ▲6.1	▲12.0 ▲5.7	▲2.4 0.4

DI=好転(高い)の割合-悪化(低下)の割合

▲はマイナス表示

※下段DI値は小規模企業

図-7 仕入条件



5 設備投資（表－6参照）

(1) 今期の動向

今期設備投資を実施した企業は、327企業中87企業で全体の26.6%と前期102企業・31.7%と比べ、5.1ポイント減少する結果となった。業種別では卸売業、サービス業において割合が増加している。小規模企業においては建設業、卸売業、サービス業の割合が増加している。

(2) 来期の計画

全産業中、来期設備投資を予定している企業は327企業中77企業で23.5%と今期実績値87企業・26.6%に比べ若干減少の見通しとなっている。全体の業種別にみると製造業、小売業で増加の見通しとなっている。

表－6 設備投資実施企業割合

(単位：%)

	実 績			現状と前期 との比較 (③－②)	来期の見通し	現状と見通し との比較 (④－③)
	①29年 1月～6月	②29年 7月～12月	③30年 1月～6月		④30年 7月～12月	
全 産 業	27.0	31.7	26.6	▲5.1	23.5	▲3.1
	16.0	20.7	18.2	▲2.5	12.8	▲5.4
製 造 業	41.2	51.6	30.5	▲21.1	35.6	5.1
	18.5	29.0	16.2	▲12.8	16.2	0.0
建 設 業	20.6	21.6	20.6	▲1.0	17.6	▲3.0
	16.1	13.8	18.6	4.8	13.8	▲5.0
卸 売 業	26.7	22.9	29.4	6.5	20.6	▲8.8
	8.3	7.7	16.7	9.0	0.0	▲16.7
小 売 業 ※飲食業含む	21.3	29.6	18.8	▲10.8	22.9	4.1
	13.3	23.5	7.7	▲15.8	7.7	0.0
サービス業	30.2	28.8	33.7	4.9	21.7	▲12.0
	25.9	27.3	34.3	7.0	17.1	▲17.2

※下段の値は小規模企業

6 資金繰りの動向（表－7、図－8参照）

(1) 今期の動向

全産業の今期の資金繰り判断D Iは▲14.1と前期▲3.4に比べ10.7ポイントの悪化となった。業種別ではすべての業種で悪化、小規模企業もすべての業種で悪化となり、卸売業（▲32.7）が30.0ポイント以上の大幅なマイナスに転じた。

(2) 来期の見通し

全産業の来期資金繰り判断D Iは▲13.4と今期実績値▲14.1に比べ、0.7ポイントとほぼ横ばいの見通しとなっている。業種別では卸売業、サービス業が改善、建設業が横ばい、製造業、小売業が悪化の見通しとなっている。小規模企業では、製造業、サービス業が改善、卸売業が横ばい、建設業、小売業が悪化の結果となった。

表-7 資金繰り

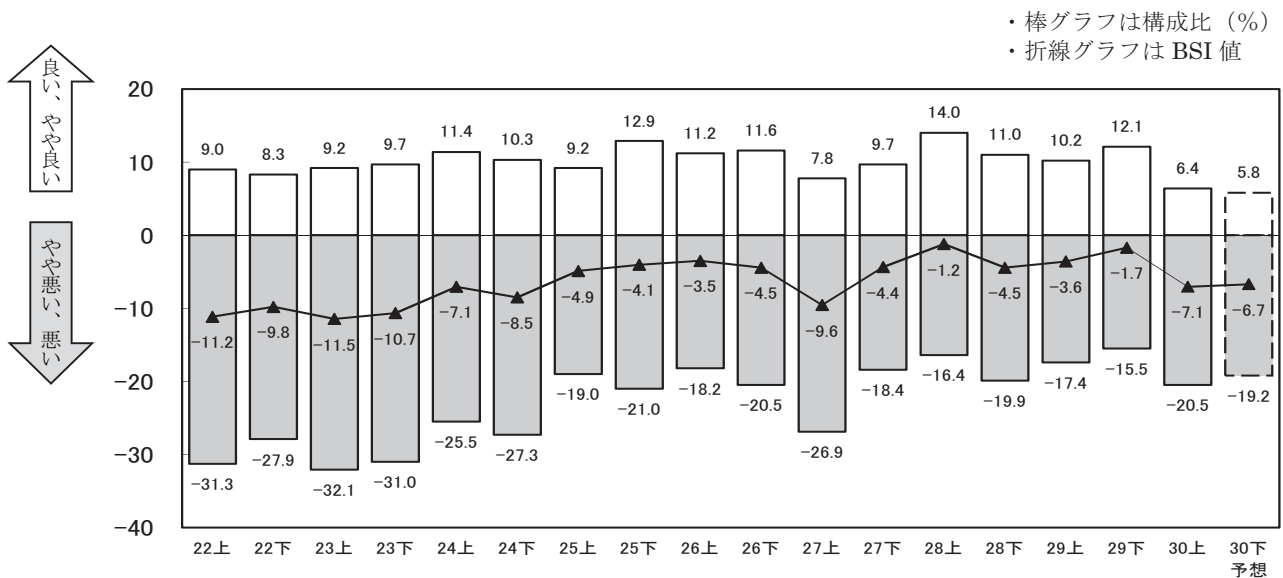
	実績			現状と前期との比較 (③-②)	来期の見通し ④30年 7月~12月	現状と見通しとの比較 (④-③)
	①29年 1月~6月	②29年 7月~12月	③30年 1月~6月			
全産業	▲7.2	▲3.4	▲14.1	▲10.7	▲13.4	0.7
	▲7.9	▲3.2	▲17.8	▲14.6	▲15.5	2.3
製造業	▲13.7	▲8.0	▲15.3	▲7.3	▲18.7	▲3.4
	▲11.1	▲13.0	▲24.3	▲11.3	▲21.6	2.7
建設業	▲8.7	▲1.3	▲7.3	▲6.0	▲7.3	0.0
	▲10.8	▲5.2	▲10.2	▲5.0	▲11.8	▲1.6
卸売業	▲3.4	2.9	▲8.8	▲11.7	▲5.9	2.9
	▲8.4	7.7	▲25.0	▲32.7	▲25.0	0.0
小売業 ※飲食業含む	▲12.7	▲9.2	▲24.9	▲15.7	▲27.1	▲2.2
	▲20.0	▲5.9	▲26.9	▲21.0	▲34.6	▲7.7
サービス業	0.0	▲2.7	▲13.3	▲10.6	▲7.2	6.1
	7.4	9.0	▲11.4	▲20.4	2.8	14.2

DI=好転（高い）の割合-悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段D I 値は小規模企業

図-8 資金繰りの現状と見通し



7 借入の動向（表－8参照）

全産業の借入難易度判断DIは、15.9と前期16.0に比べ0.1ポイント減少とほぼ横ばいとなった。小規模企業では、4.0と前期10.8より6.8ポイント悪化となった。業種別では、卸売業、小売業で改善、サービス業は横ばい、製造業、建設業では悪化となった。

表－8 借入の難易度

	実 績			現状と前期との比較 (③－②)
	①29年 1月～6月期	②29年 7月～12月期	③30年 1月～6月期	
全 産 業	14.0	16.0	15.9	▲0.1
	2.9	10.8	4.0	▲6.8
製 造 業	26.1	31.4	16.0	▲15.4
	9.1	26.3	0.0	▲26.3
建 設 業	5.0	10.5	5.9	▲4.6
	▲3.2	5.1	3.7	▲1.4
卸 売 業	11.7	13.7	38.5	24.8
	▲25.0	0.0	14.3	14.3
小 売 業	22.2	21.5	26.1	4.6
※飲食業含む	12.5	0.0	10.0	10.0
サービス業	7.4	2.7	2.6	▲0.1
	8.4	15.4	8.3	▲7.1

DI＝好転（高い）の割合－悪化（低下）の割合

▲はマイナス表示

※下段の値は小規模企業

8 借入予定と借入希望先（図－9参照）

全産業中、来期に借入を予定している企業は327企業中68企業で全体の20.8%と前期23.0%と比べ、若干の減少となっている。

借入希望先では、全産業の民間金融機関希望は76.5%と前期77.0%に比べ、ほぼ横ばい。公的金融機関でも19.1%と前期20.3%と比べ、ほぼ横ばいとなっている。

借入資金使途では運転資金60.3%（前期54.1%）、設備資金36.8%（前期43.2%）となっている。

図-9-① 借入予定

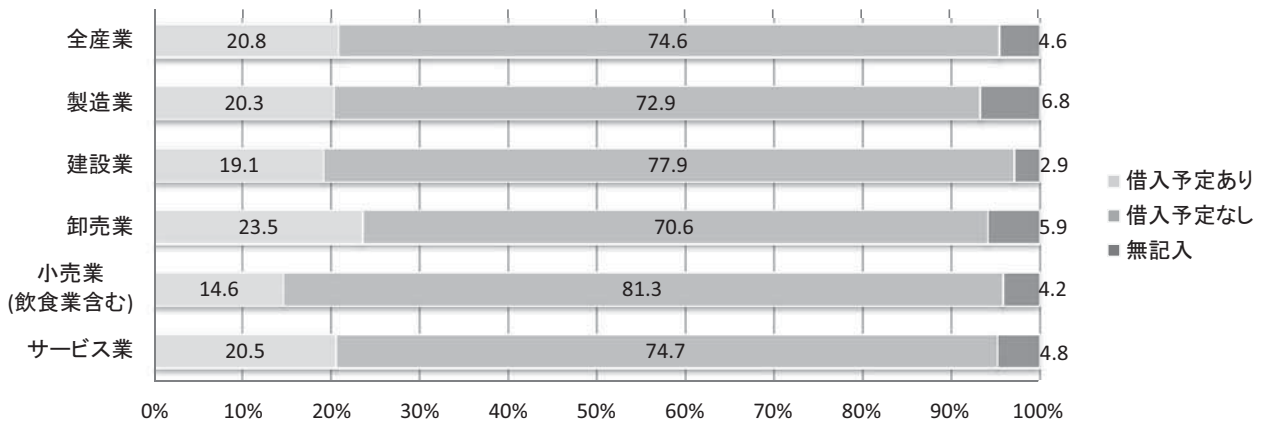


図-9-② 借入希望先

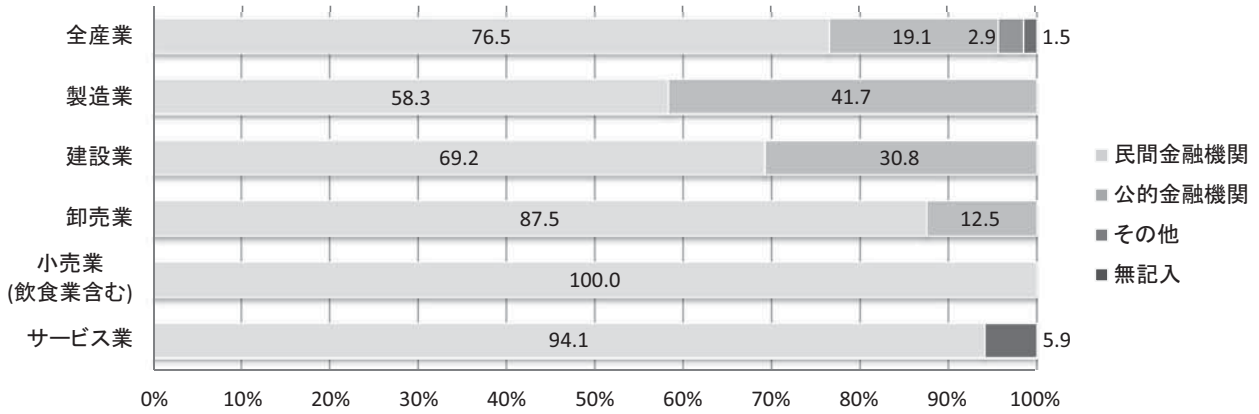
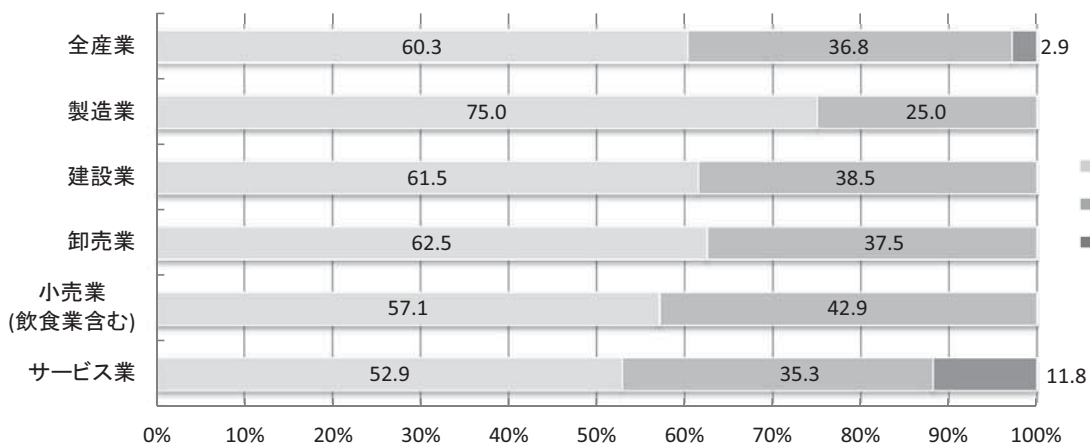


図-9-③ 借入資金の使途予定



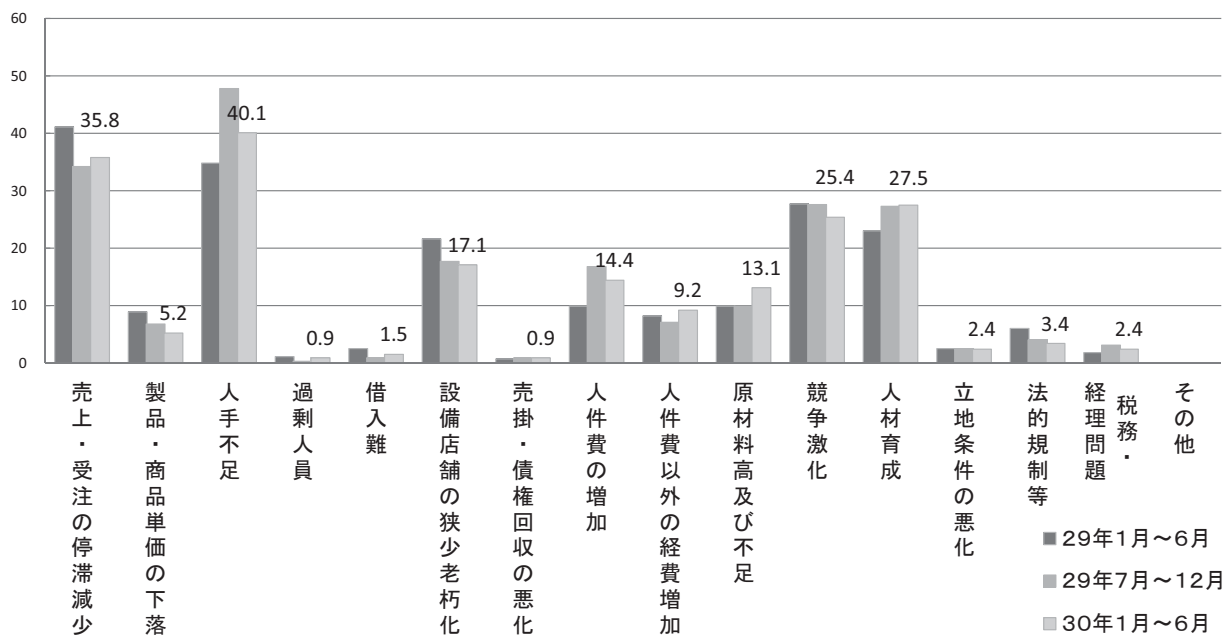
9 経営上の問題点（3項目まで選択）（図-10、表-9参照）

全産業の経営上の問題点は、1位が「人手不足」、2位が「売上・受注の停滞・減少」、3位が「人材育成」となり、2期連続で「人手不足」は1位となった。前回4位であった「人材育成」が、前回3位の「競争激化」を上回り、3位となった。

また、業種別においては、建設業、サービス業で「人手不足」、製造業、小売業で「売上・受注の停滞・減少」、卸売業では、「人材育成」が1位となった。

図-10 全産業・経営上の問題点

（単位：％）



表－9 産業別・経営上の問題点

(単位：%)

順位 産業		29年7月～12月期			30年1月～6月期		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
産業別	全産業	人手不足 47.8	売上・受注の 停滞減少 34.2	競争激化 27.6	人手不足 40.1	売上・受注の 停滞減少 35.8	人材育成 27.5
	製造業	人手不足 46.8	売上・受注の 停滞減少 35.5	・設備店舗の 狭小老朽化 ・競争激化 29.0	売上・受注の 停滞減少 44.1	人手不足 27.1	人材育成 25.4
	建設業	人手不足 62.2	売上・受注の 停滞減少 43.2	・競争激化 ・人材育成 28.4	人手不足 48.5	売上・受注の 停滞減少 41.2	競争激化 29.4
	卸売業	人手不足 48.6	競争激化 31.4	人材育成 28.6	人材育成 35.3	人手不足 32.4	売上・受注の 停滞減少 29.4
	小売業 ※飲食業含む	売上・受注の 停滞減少 40.7	人手不足 33.3	競争激化 24.1	売上・受注の 停滞減少 50.0	人手不足 37.5	競争激化 25.0
	サービス業	人手不足 43.8	競争激化 31.5	売上・受注の 停滞減少 30.1	人手不足 38.6	人材育成 30.1	売上・受注の 停滞減少 27.7

景況調査票

平成30年7月

※各設問に対して該当するものに○印を付けてください。

企業の概要

1 業種(主たるもの1つ)

〈製造業〉	1.食料品	2.繊維品	3.機械製品	4.金属製品	5.木材木製品
	6.化学製品	7.土石窯業	8.印刷・出版	9.その他	
〈建設業〉	10.土木工事	11.建築工事	12.その他		
〈卸売業〉	13.食料品	14.繊維・身の回り品	15.その他		
〈小売業〉	16.繊維・身の回り品	17.食料品	18.家具・日用品	19.電気製品	20.その他
〈飲食業〉	21.飲食店				
〈サービス業〉	22.美容・理容	23.ホテル・旅館	24.自動車整備	25.不動産	26.その他
〈交通運輸業〉	27.交通運輸	〈その他〉	28.その他		

2 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く。)

1. 0～5人	2. 6～20人	3. 21～50人	4. 51～100人	5. 101人以上
---------	----------	-----------	------------	-----------

企業の経営状況について

3 現状について…平成30年1～6月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良	2. やや良	3. 変わらない	4. やや悪い	5. 悪い
------	--------	----------	---------	-------

理由:

4 今後の見通しについて…平成30年7～12月の業況は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 良	2. やや良	3. 変わらない	4. やや悪い	5. 悪い	6. わからない
------	--------	----------	---------	-------	----------

理由:

5 売上状況について…平成30年1～6月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	2. やや増	3. 変わらない	4. やや減	5. 減	少
------	--------	----------	--------	------	---

6 売上の見通しについて…平成30年7～12月の売上は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 増	2. やや増	3. 変わらない	4. やや減	5. 減	少	6. わからない
------	--------	----------	--------	------	---	----------

7 利益状況について…平成30年1～6月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	2. やや増	3. 変わらない	4. やや減	5. 減	少
------	--------	----------	--------	------	---

8 販売条件(単価・決済方法)について…平成30年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好	3. 変わらない	4. やや悪	5. 悪	化
------	--------	----------	--------	------	---

9 仕入条件(単価・決済方法)について…平成30年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好	3. 変わらない	4. やや悪	5. 悪	化	6. 仕入なし
------	--------	----------	--------	------	---	---------

10 設備投資について

平成30年1～6月の実績		平成30年7～12月の予定	
1. 行った	2. 行わない	1. 予定あり	2. 予定なし

11 資金繰りの現状について…平成30年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好	3. 変わらない	4. やや悪	5. 悪	化
------	--------	----------	--------	------	---

12 資金繰りの見通しについて…平成30年7～12月は前年同期に比べてどうなと思いますか。

1. 好	2. やや好	3. 変わらない	4. やや悪	5. 悪	化	6. わからない
------	--------	----------	--------	------	---	----------

13 借入の現状について…平成30年1～6月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容	2. 普	3. 困	難
------	------	------	---

14 借入予定はありますか…(平成30年7～12月)

1. 予定している	2. 予定していない
-----------	------------

14-1. 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. その他
-----------	-----------	--------

14-2. 資金使途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運転資金	2. 設備資金
---------	---------

15 現在経営上で、困っている問題点は何か。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

16 その他困っている問題・御意見等があれば御記入ください。

() 御協力ありがとうございました。

津地区の景況調査 No. 7 2

平成30年9月発行

■ 編集 津商工会議所中小企業相談所

■ 発行 津商工会議所

(本所)

〒514-0033 津市丸之内2-9-14

TEL 059-228-9141 FAX 059-228-7317

(久居支所)

〒514-1135 津市久居本町1-3-47-1

TEL 059-255-2343 FAX 059-256-3665